

# 糸つむぎ Vol.40

編集・発行  
 社会福祉法人  
 昭和福祉会  
 昭和ホーム家族会  
 TEL 0241-58-1920  
 FAX 0241-58-1922  
 E-mail :  
 showahome581920  
 @sweet.ocn.ne.jp  
 HP : <http://www.showa-home.jp/>



## 第7回 昭和ホーム大運動会

今年の運動会は、ユニット館がオープンして初めての運動会です。本館とユニット館との合同で行い、大規模な運動会となりました。ご利用者も職員も、みんなで張り切り、楽しく笑いの絶えない運動会となりました。白熱した勝負の末、勝ったのは白組。2年連続で優勝トロフィーを獲得しました。来年は「紅組」が優勝に向けて頑張るぞー！



「糸つむぎ」は昭和ホーム家族会の皆様の会費により作成されております。

昭 和 ホ ー ム 本 館 ・ ユ ニ ッ ト 館



# 節分会



ガオオオオ

「福は内!鬼は外!」威勢の良い掛け声で豆まきが始まりました。そこへ、赤鬼の登場。「ガオオオオ〜!!」と暴れまわります。さあ鬼退治。豆をたくさんぶつけられて…逃げまどう鬼さん。最後は仲良く写真撮影し、皆さんでおいしく豆をいただきました。



# だんごさし

1月13日、だんごさしを行いました。色とりどりのだんごを、きれいに「みずの木」に刺しました。水分を多く含んでいる「みずの木」に刺すのは、防火や防災を祈願するという意味もあるそうです。今年も1年、災を防ぎ難に遭わないよう、祈りをこめてだんごさしを行いました。



# ひな祭り



ひな祭りには、皆さんで桜餅を手作りしました。皆さん上手にコロコロと丸め、とても美味しそうにできました。自分で作った桜餅は格別の味だったようで、「うまいなあ〜」「一番大きいの食ったあ〜」と、話にも花が咲き、楽しいひな祭り会となりました。



## すみれ荘デイサービス

### だんごさし

新年の恒例行事としてご利用者の皆様と団子さしを行いました。団子の他にも鶴、亀、米俵などの縁起物を作られ、思い思いに飾り付けをされました。



### 節分



今年の節分行事は、ただ豆をまくだけではなく、ご利用者に手伝ってもらい制作した鬼倒しゲームも行いました。豆まきも鬼倒しゲームも皆さん笑顔で参加していただきました。



### ひな祭り、お菓子づくり



今年のひな祭りは、ひな壇飾りをご利用者と制作し、お菓子作りに挑戦しました。

お菓子は「どら焼き」で、焼く人、餡を作る人、挟む人等、みんなで調理しました。皆さん出来上がった「どら焼き」をおいしそうに食べていました。



# ご寄付・ボランティアありがとうございました! (平成29年1月~3月)

▽寄付金：昭和村老人クラブ連合会様 金 二万円  
 五十嵐喜久男様 金 五万円  
 五ノ井哲雄様 金 二万円  
 菅家久雄様 金 一封

▽寄付物：(ホーム) 渡部義元様 / 菅家和歌子様 / 舟木勝義様  
 渡部静子様 / 羽染モモ子様 / 渡部忠雄様 / 齋藤トラヨ様  
 本名聖子様・渡辺伯子様 / 本名幸一郎様 / 菅家隆様 / 佐藤郁様  
 (すみれ荘) 菅家和歌子様 / 五十嵐喜久男様  
 五十嵐アキ子様 / 五十嵐フク子様 / 渡辺重雄様



## 職員紹介《栄養係》



厨房のスタッフです。衛生面での安全はもちろんですが、季節感や彩り、食べやすさにも気を配り調理しています。厨房の中に居る時間が長いですが、時々ご利用者の皆さんから直接感想を伺いたいと思っています。ご利用者の皆さんに「美味しい!」と言っていただくと、とても励みになります。

## 新しい仲間たち

12月~2月に採用となった  
職員の紹介です。(全員、介護職員です。)



### 大澤 秀行

ご利用者が快適に過ごされるよう、日々頑張っています。



### 佐藤 太

夏はカスミソウ栽培のため、冬季間のみではありますが、頑張りたいです。



### 猪岐勇貴

ご利用者の皆様が気持ちよく過ごせるように気を配って介護していきたいです。



### 鈴木美千代

一ヶ月もあっという間に過ぎました。まだまだ不慣れですが頑張ります。



### 横田千代

皆さんに一から教えていただき感謝しています。頑張ります。



### 齋藤美香

会津美里町出身です。介護福祉士の勉強を頑張ります。よろしくお願いします。

## おしらせ

4月より昭和福祉会で「居宅介護支援事業所」を運営する事となりました。場所はすみれ荘の中です。要介護(1~5)の認定を受けた方が、適切に介護サービスを受ける事ができるよう、サポートいたします。お気軽にご相談ください。

## 編集後記

会津若松市から通勤するようになり迎えた初めての冬。1月中旬以降は寒波が幾度も襲来し、峠越えの通勤に難儀しました。それでもご利用者によれば「こんなままだ少ねえ方だ。昔は家から出るようもなかったぞ。」と。先人のご苦勞に思いを馳せながらも、今の便利な生活にあらためて感謝できた今年の冬。

『冬来りなば春遠からじ』春はもうすぐです。(ぴ)